

看護部通信

No 5

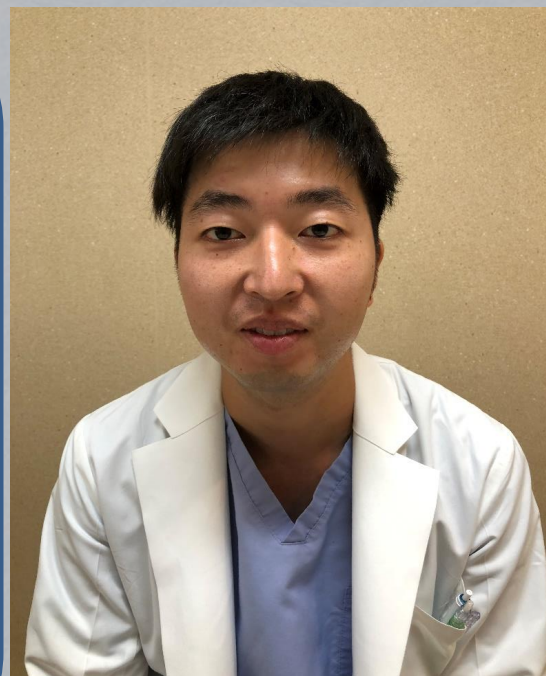
令和4年8月作成

4月から入職した精神科の医師 花房 慶太 先生をご紹介します。
病棟は主に4病棟を担当しています。
先生のことを知るためにインタビューをしました。

- Q1.出身は？→A1.神奈川県
Q2.好きな食べ物は？→A2.海鮮全般
Q3.趣味は？→A3.ゴルフ・旅行
Q4.自分のためにした一番のご褒美は？→A4.車
Q5.医師を目指したきっかけは？→A5.困っている人をたすけるため
Q6.精神科を選んだ理由は？→A6.ストレスの多い現代社会で困っている人を助けたいとおもったから
Q7.仕事のやりがいは？→A7.調子の悪かった患者さんが日常生活に戻っていくのをみた時
Q8.診るのが得意な疾患は？→A8.統合失調症
Q9.よく使用する薬は？→A9.デビコ

先生からのメッセージ

平素より、お世話になっております。コロナ禍にもかかわらず東京の病院から来た私に温かく接していただいて日々、感謝しております。今後ともよろしくお願いいたします。



花房 慶太 先生

新人Nsからのメッセージ

庭山 トモ子さん（1病棟）

看護の仕事にやりがいがあり、日々苦戦しながら頑張っています。まだまだ分からない事が沢山あり、色々な人に聞いてまわると思いますが宜しくお願いいたします。

小林 久美子さん（2病棟）

覚える事に時間がかかりますが、早く戦力になれるように頑張ります。



患者さんと関わることそのものが「治療」になるから面白い

入職して16年目、看護師です。

働いていて思うことは『精神科って面白い』ということです。最初は『精神科看護って特殊だな』と思うことが多かったのですが、年数を重ねるに連れ、患者さんを支えると言う事では看護の基本は一緒だと感じるようになりました。一方、精神科が他科とは違うところは、『患者様と関わること』そのものが、医師が薬を処方することと同じ治療の手段になっていることです。

看護師の専門的な関わり方により患者さんの病状が変わる。治療に参加していると実感できる。そして患者さんがその人らしく生活することを支える。『この仕事をやっていて良かった！』と思える充実感はたまりません。

池田 邦博（1病棟）

(医)有田病院看護部

URL: <http://yushinkai.info/>

